# 赤坂

第18号

北九州市立赤坂小学校 文責 梶原 秀朗

【学校教育目標】 自ら学び考え、心豊かで、 心身ともに健康な児童の育成

# 10月、子どもたちは頑張っています!Part2

今週末は、いよいよ11月になりますが、10月子どもたちは本当によく頑張りました。前号に引き続き、子どもたちの頑張っている様子をお伝えいたします。

## ☆自然教室

16日(水)、17日(木)と5年生は、門司少年自然の家に自然教室へ行ってきました。自然の家では、「規律」「協同」「友愛」「奉仕」の精神をしっかり学び取ることができました。子どもたち一人一人自分の仕事に責任をもって取り組んだり、友達と協力して活動したりすることができ、とても有意義な2日間であったと思います。



磯遊び・・・小魚やカニを捕まえました。

#### ☆手洗い・うがいの励行

最近北九州市では、インフルエンザによる学級閉鎖やノロウィルスによる感染性胃腸炎の発症事例が報告されています。来週3日(日)は、学習発表会です。練習の成果を発揮できるよう日頃から健康に気を付けましょう。まずは、食事前の手洗い、外出から戻ったときのうがいをしっかり行いましょう。保護者の皆様、ご協力よろしくお願いいたします。

## ☆「生活習慣」と「学力」の関係について 〜学力調査の結果から〜 Part1

先日、北九州教育委員会より学力テスト等の結果を分析したところ、学力と生活習慣には、相関があると報告がありましたので複数回に分けて保護者の皆様にもお伝えいたします。児童質問紙で「朝食を毎日食べていますか。」という質問に対し、「毎日食べている」と回答した児童の正答率が一番高く、「どちらかというと食べている」「あまり食べない」「全く食べない」の順に正答率が低くなっていることが報告されました。このことから分かるように、朝食を毎日規則正しく食べることはとても大切です。保護者の皆様には、ぜひお子さんがご家庭で朝食を毎日しっかりと食べることができるようご協力願います。

#### 【裏面もご覧下さい。】



#### | 11月の行事予定 |

1	金	会場設営
3	日	学習発表会
4	月	文化の日振替休日
5	火	あいさつ運動ウィーク (~7日)
6	水	消防士さんといっしょ3年
7	木	芋掘り1年・2年 連合音楽会4年 委員会活動
8	金	3日日曜日の代休
11	月	風船バレー交流会
12	火	お話の会4年・5年 自転車教室4年 動物ふれあい学習1年・2年
14	木	クラブ活動
16	土	市民センター祭り (~17日)
19	火	焼き芋会1年・2年
20	水	修学旅行6年(~21日)
21	木	中学校制服説明会 (於各中学校 6 年保護者)
22	金	全校昼休み後下校
23	土	勤労感謝の日
26	火	介護の仕事体験授業4年
27	水	球技大会5年
28	木	クラブと委員会活動反省
29	金	縦割りで遊ぶ日

☆ 今、赤坂小の子どもたちは、発表会のスローガン「最後まで全員主役 全力を出し切って 笑顔と感動をとどけよう!」になるよう頑張っています!

校庭の木々の葉も色づき、秋の深まりを感じます。そのような季節の移ろいの中で子どもたちは今、学習発表会に向けて一生懸命に頑張っています。各学年の練習の様子を見て回りますと、練習に打ち込む子どもたちの表情の素晴らしさを感じます。また、先生たちの指導にも、熱いものが伝わってきます。

きっと、3日の学習発表会では、最後まで全員主役で全力を 出し切って、保護者や地域の皆様を前に、練習の成果を精一杯



に発揮することだと思います。当日は、大きな温かい拍手をたくさんたくさんお願いいたします。練習の疲れも出る頃です。どうぞ、ご家庭の方でも励ましのお声掛けをしていただければ幸いです。

#### 【各学年の練習の様子です。短い練習期間の中で、本番に向けて頑張っています!】



1年劇「くじらぐもに のって」



2年合奏唱「みのりの秋」



3年劇「おしゃれな 王様」



4年合奏唱「新しい世界 オーラリー チャレンジ! ぼくときみの夏」



5年・6年 器楽「よろこびの歌 ハナミズキ 威風堂々」他

練習の様子から、子どもたちの頑張りが伝わってきます。日に日に素晴らしいものに仕上がっています。どうぞ楽しみにされてください。

# ▶「赤坂あったか放送」実施中



10月より、原則毎週水曜日の給食時間に「赤坂あったか放送」を実施しています。この放送では、赤坂小学校で頑張っているお友達や学級、学年、学校のために働いてくれている地域の人などを紹介していきます。これまで、陸上記録会に向けて頑張っている6年生の姿や陸上記録会での6年生の姿、自然教室で協力している5年生の姿を全校に伝えてきました。今後も子どもたちの頑張っている姿を少しでも多く伝えていきたいと思っています。そうすることで、赤坂っ子の自己肯定感や自尊感情を少しでも高めることができるのではと考えています。















